

2025年2月21日

各 位

会 社 名 プレミアグループ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長グループ CEO 兼 COO 柴田 洋一  
(コード番号: 7199 東証プライム市場)  
問 合 せ 先 取締役常務執行役員グループ CFO 金澤 友洋  
(TEL. 03-5114-5701)

### 当社連結子会社における債権の流動化に関するお知らせ

当社連結子会社のプレミア株式会社（以下「プレミア」）は、2025年2月21日開催の取締役会において、下記のとおり、株式会社あおぞら銀行（以下「あおぞら銀行」）の「あおぞらポジティブ・インパクト・ファイナンス」を利用し、オートクレジット債権の流動化を実施することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結子会社（プレミア）における債権の流動化

##### (1) 債権流動化の目的

プレミアは、将来の金利上昇リスクの低減、保有資産の効率的活用及び財務基盤の強化を図る目的で、あおぞら銀行の「あおぞらポジティブ・インパクト・ファイナンス」を利用し、立替払方式のオートクレジット債権の流動化を行うことといたしました。

##### (2) 債権流動化の概要

(1) 債務者	国内の個人及び法人
(2) 対象債権	プレミアが保有する立替払方式のオートクレジット債権
(3) 受託者	あおぞら銀行
(4) 流動化金額	約73億円
(5) 実行予定日	2025年2月27日

#### 2. ポジティブ・インパクト・ファイナンスの利用

ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下「PIF」）は、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が策定したポジティブ・インパクト金融原則（以下「PIF原則」）に基づき、企業活動が環境、社会、経済にどのようなインパクト（影響）を与えるかを包括的に分析・評価し、ポジティブなインパクトの進展・拡大ないしはネガティブなインパクトの緩和・抑制を継続的に支援することを目的としたファイナンスです。

あおぞら銀行は2023年6月1日付で「あおぞらポジティブ・インパクト・ファイナンス」として、あおぞら銀行のPIF評価実施体制がPIF原則に適合している旨のセカンドオピニオンを、株式会社格付投資情報センターより取得しています。なお、当社グループが本流動化実施にて掲げる目標及びKPI等のPIF原則への適合性はあおぞら銀行が確認しています。

当社グループがPIFにて掲げる目標及びKPIについては、以下のあおぞら銀行のポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書をご参照ください。

■あおぞら銀行HP

<https://www.aozorabank.co.jp/corp/sustainability/environment/achievement-2/>

### 3. 今後の見通し

本流動化実施が当社グループの2025年3月期の業績に与える影響は軽微ではありますが、今後、新たに業績に重要な影響を及ぼす開示すべき事項が発生した場合及び本流動化の取消が決定された場合は、速やかに開示いたします。

以 上